

3つの支援事例 ブランディング

“地域発”イノベーションセミナー

支援事例報告会

2/21(金)

15時～17時15分

開催場所

四季彩ホテル 千代田館

佐賀市高木瀬町東高木 216-1

伝統産業
リブランディング
(株)深海商店
13代目 深海宗佑 様



<伝統産業の持続的発展>
ブランディング・プロモーションによる新規顧客創造と顧客接点の多面化
420年の歴史を持ち、高い技術研究力と4800種類に及ぶ豊富な商品（吳須・色絵具・釉薬）をお客様に提供しています。
年々市場規模が縮小していく伝統産業である窯業界において、収益の拡大を行うことが継続性を保つ唯一無二の方法だと考え、これまで不足していたブランディングとプロモーションを行うことで、有田のみならず日本の陶磁器の他産地や趣味の陶芸家をも顧客にし、さらに顧客のファン化に取り組んでいます。

第1部 佐賀県産業イノベーションセンター

15:00～ 人材経営戦略課

佐賀よろず 事業説明

第2部 ①深海商店 様

15:30～ ②塚本製作所 様

③谷田建設 様

第3部 佐賀よろずコーディネーター紹介

16:40～

新たな市場開拓

BtoC市場へ

(株)塚本製作所
専務取締役 塚本毅夫 様



<販路開拓×経営力向上>

創業80年目のチョット老舗の高品質家具メーカー。

職人だけの社員で元気に一生懸命家具を作り、ホテルオーネークラや帝国ホテル、船舶ダイヤモンド・プリンセスや飛鳥など多くの納入実績あり。

これまでBtoB事業を営んできましたが、安い輸入家具に市場のシェアを奪われ、このままでは縮小していくことに危機感を覚えました。今期は補助金を活用し、専門家を招いて初めてのブランディング・プロモーションに挑戦。

新たな販路開拓としてよろず支援拠点を活用しながらWebマーケティングを実践し、BtoC事業をスタートしました。

新規事業展開で

地域活性化

(株)谷田建設
代表取締役 谷田政行 様



<地域内連携による新規事業展開>
現在の建設業、産業廃棄物処理業の展開において処理の対象となる浚渫土の有効利用として、農業における資材として土地改良材を開発。

農業および家庭菜園、育苗業への提供を検討する中、よろず支援拠点へ相談の依頼がありました。

当該資材の効果検証のため、農家との連携を提案。試験栽培の農作物を「コガネセンガン」とし、収穫後は栽培農家からの全量買取り、酒造会社との連携による「焼酎」製造の取組みを実践中です。

完成後のラベルについては県内特別支援学校等との連携協力をはかり製作するなど、幅広い事業者あるいは教育所が関わる取組みとなっています。

お問合せ先

(公財) 佐賀県産業振興機構

佐賀県産業イノベーションセンター

人材経営戦略課

0952-34-4422

keiei@mb.infosaga.or.jp

お申込みはこちら

下記URLまたはQR

<https://bit.ly/3ZPMrXY>

